

校長室より

令和7年1月15日

新年あけましておめでとうございます。

今年巳年です。蛇は脱皮を繰り返すことから、新しい生命の誕生と、生命のエネルギー、などの象徴ですという話を、始業式に行いました。新しいものを生み出すためには、振り返ることも大切で、「温故知新」という言葉もあります。

昨年の12月に小田原のUMECOで行われた大井高校芸術作品展の紹介と、12月18日に実施した校外学習でのドコモショップとの連携を紹介します。

大井高校芸術作品展は、芸術選択の生徒の作品が一堂に集められ、展示されていました。

大井高校では、現在再現して展示しています。

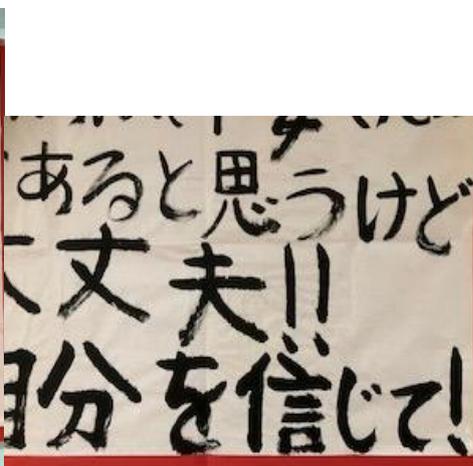
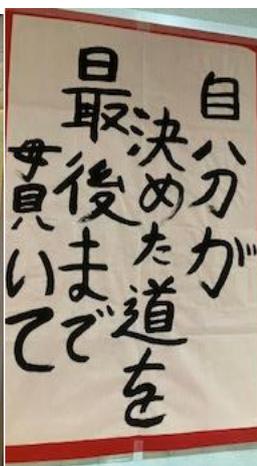
まずは、美術選択者の作品と学習ノートです。



音楽選択者の展示は QR コードを読み取ることで演奏が聴けるように工夫していました。



書道選択者の迫力ある展示です。





次は校外学習についてです。大井高校では、1、2年生を対象に年2回の校外学習を設け、地元の企業や上級学校にお願いをして、見学や体験学習をさせていただいています。校外学習を機に、卒業後の進路への決意を固める生徒も多数います。

1月11日発行のタウンニュースに校外学習でのドコモとの連携が紹介されました。

就業と進学 高校生が体験

ドコモショップなど訪問

小田原市鴨宮のドコモショップ小田原東店で12月18日、県立大井高校の生徒約10人が校外学習として職場体験を行った。同校ではこの日、1、2年生が就職や進学に向けた活動として短大や企業の事業所などを訪問。ドコモショップでは2グループに分かれ、シニア向けのスマートフォン講座の様子や最新機種のカメラ機能等のレクチャー

18万円
メタリーパーク

用込み。
永代供養墓は、家族や近親者の負担を軽減しながら、長く安心感を得られる点が魅力。「大空の碑」は高台からの美しい

を受けた。
その後は来店に向けた施策などを話し合う会議体験を行った。同店を運営する㈱アベストミヤケの渡辺大介取締役社長は「スマホの便利さと、それを不便と感じている人がいることを感じてほしい、就業のきっかけや発想を地域に役立てようという思いを持ってもらえば」と話していた。

スマホの機能を学ぶ大井高校生

■有限 昨年 表取締役 学院長 和氏 和将氏 訪れ、して、した。 同

家族中心で偲び送

ドコモの皆様、校外学習を受け入れてくださっている企業の皆様、学校の皆様本当にありがとうございました。